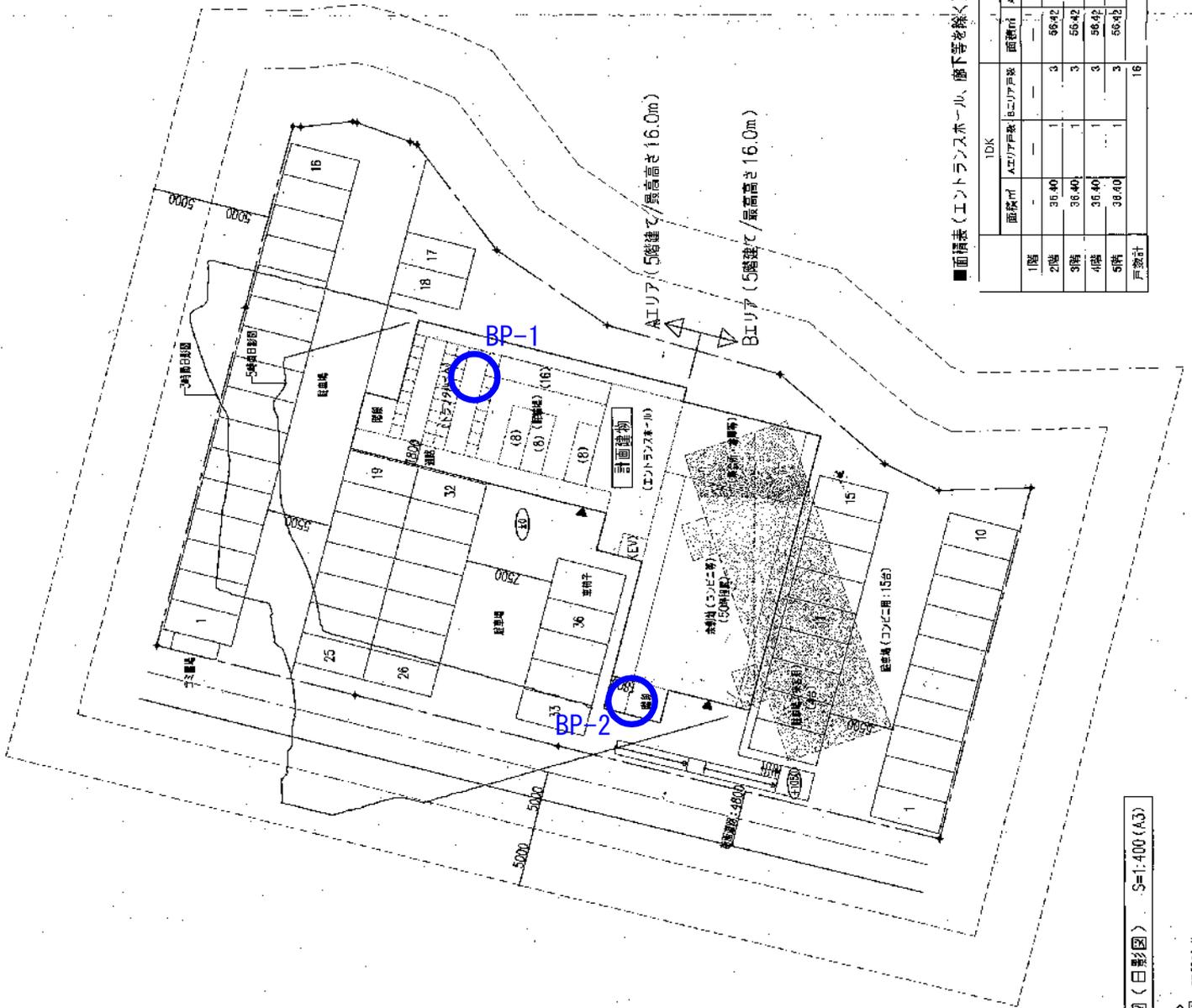
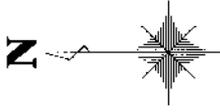


資料5 計画地土質柱状図

敷地配置図



AIエリア (5階建て/最高高さ16.0m)
 BIエリア (5階建て/最高高さ16.0m)

■面積表 (エントランスホール、廊下等を除く)

階	1DK		2DK		3DK		集会所 m ²	除面積計 m ²
	面積m ²	Aエリア戸数	Bエリア戸数	面積m ²	Aエリア戸数	Bエリア戸数		
1階	-	-	-	-	-	-	30.00	30.00
2階	36.40	1	3	66.42	2	66.52	1	436.80
3階	36.40	1	3	66.42	2	66.52	1	436.80
4階	36.40	1	3	66.42	2	66.52	1	436.80
5階	36.40	1	3	66.42	2	66.52	1	436.80
戸数計			16		16		4	1777.20

記号図 (日影図) S=1:400 (A3)

<凡例>
 : 既設建物

ボーリング柱状図

調査名 倉吉市長坂新町住宅建替事業に係るPFIアドバイザー業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	BP-2	調査位置	倉吉市長坂新町外	北緯	35° 25' 35.4000"
発注機関	倉吉市	調査期間	2022/ 8/18~2022/ 8/23	東経	133° 48' 51.8000"
調査業者名	西谷技術コンサルタント株式会社 電話 0858-26-2411	主任技師	山根健治 地質調査技士 第16172号	現代理人	澁谷久志 地質調査技士 第14754号
コ 鑑 定 者	藤井将嗣 地質調査技士 第14486号	ボーリング責任者	栗原伸章 地質調査技士 第10604号	試錐機	東邦地下工機 D-0-D
孔口標高	KBM 22.90m	角	180° 上 0° 下 0°	方 向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総掘進長	16.00m	度	0°	向	0° 水平 鉛直 90°
使用機種	東邦地下工機 D-0-D	エンジン	ヤンマー NFD-8	ポンプ	ヤンマー CP35

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日			
											深 度 (m)	N 値	100mm毎の打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)			試料採取方法		
1	22.10 21.80	0.80 1.10	礫混じり砂	礫混じり砂		黄褐			盛土。層相は礫混じり砂。含水量少ない。人力掘削が容易。	8/19 0.77		1.15	1		1							
2			シルト混じり砂	シルト混じり砂		褐灰			盛土。粒径の不均一な砂主体でシルトを多く含む。木根混入。含水量多い。			1.45										
3	20.40 20.00	2.50 2.90	礫混じり砂	礫混じり砂		暗灰 rd1			盛土。粒径の不均一な砂に径5mm前後の礫を混入。部分的に花崗岩礫が点在する。含水量中位~多い。全体にシルト混入。孔壁の崩壊が顕著。			2.15	2	1	3							
4			人工物	人工物		灰			盛土。長さ20cmのコンクリート、その上下は径50mm程度の硬質な角礫。径30mm以下の礫を主体とする。礫は硬質な安山岩で、花崗岩礫が混じる。マトリックスはシルト質砂。GL-5.1~5.2m間はシルト優勢層を挟む。含水量は中位~多い。孔壁の崩壊が顕著。			2.46										
5			砂礫	砂礫		淡褐			盛土。長さ20cmのコンクリート、その上下は径50mm程度の硬質な角礫。径30mm以下の礫を主体とする。礫は硬質な安山岩で、花崗岩礫が混じる。マトリックスはシルト質砂。GL-5.1~5.2m間はシルト優勢層を挟む。含水量は中位~多い。孔壁の崩壊が顕著。			3.15	3	2	2	7						
6	17.20 16.40	5.70 6.50	シルト混じり砂	シルト混じり砂		暗灰			粒径の不均一な砂にシルトが混入する。局部的に径30mm程度の亜角礫が点在する。含水量中位~多い。			3.54										
7	15.80	7.10	砂質シルト	砂質シルト		黒褐			全体に粒径の不均一な砂と細礫が混入するシルト。含水量中位~多い。			4.15	4	3	2	9						
8	14.80	8.10	シルト混じり砂	シルト混じり砂		暗灰 rd1			全体にシルトを多く混入した細砂。含水量は中位。			4.45										
9			シルト混じり砂礫	シルト混じり砂礫		褐			径50mm以下の礫を主体とする。礫は硬質な安山岩、花崗岩礫など。マトリックスはシルト質砂で、砂は粒径不均一。GL-10.1~10.2m間はシルトを挟む。含水量は中位~多い。孔壁の崩壊が顕著。			5.15	2	2	2	6						
10	12.30 12.00	10.60 10.90	礫混じりシルト	礫混じりシルト		暗褐			径5mm前後の礫を多量に混入するシルト。含水量中位~多い。			5.50										
11			砂礫	砂礫		灰			径30mm以下の礫を主体とする。マトリックスはシルト質砂。含水量は中位~多い。孔壁の崩壊が顕著。			6.15	3	2	2	7						
12	11.10	11.80	シルト混じり砂礫	シルト混じり砂礫		濃褐			砂の粒径は不均一であるが、概ね、粗砂が優勢。礫は硬質な細礫。いずれも花崗岩質。孔壁の崩壊が顕著。			6.53										
13	10.00	12.90	風化花崗岩	風化花崗岩					コアは柱状で採取される。コア肌はザラザラ。強い指圧で崩れ鬼マサ状~岩片~短柱状となる。各粒子は硬く、割れ目治いは黒変している。RQD=0%。DH級 (軟岩I) 岩盤。			7.15	2	1	3							
14	7.50	15.40	花崗岩	花崗岩		暗乳灰			コアは短柱状で採取される。コア肌はややざらつく。岩片は硬質。全体に、水平方向の割目が発達する。コアmax16cm、RQD=40%。CL級 (軟岩I) 岩盤。			7.50	220	130	350							
15												8.15	3	3	2	8						
16	6.90	16.00										8.45										
17												8.95	7	4	6	17						
18												9.45										
												10.15	2	3	1	6						
												10.45										
												11.15	6	5	6	17						
												11.45										
												12.15	9	8	5	22						
												12.45										
												13.15	30	30	60	80						
												13.23	50	30	80							
												14.10	38	22	60	70						
												14.17	50	20	70							
												15.05	60		60	50						
												15.10	50		50							
												16.00	貫入不能		60	0						